

2016年3月31日

応用地質 株式会社
国際石油開発帝石 株式会社
石油資源開発 株式会社
大成建設 株式会社
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」の設立について

CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) は地球温暖化対策上の重要な技術として国内外に認識されていますが、実用化にあたっては、安全かつ大規模・効率的なCO₂地中貯留技術の実現が必須となります。我が国の貯留層に適した実用化規模（100万トン/年）でのCO₂地中貯留技術を開発するとともに、CCSの社会受容性の獲得を志向した研究開発を行うために、経済産業大臣へ「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」の設立認可申請を行い、本日付で認可を受けました。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合の概要

(1) 実用化に向けた取り組みの概要

- ・ CO₂圧入・貯留の安全管理技術の確立
- ・ 大規模貯留層有効圧入・利用技術の確立
- ・ CCS普及環境整備・基準の整備

(2) 所在地： 京都府木津川市木津川台9丁目2番地

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構内

(3) 理事長： 山地 憲治（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事 研究所長）

組合員： 応用地質 株式会社、国際石油開発帝石 株式会社、石油資源開発 株式会社、大成建設 株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

（4企業、1国立研究開発法人、1公益財団法人）

以上

お問合せ先

- ・ 二酸化炭素地中貯留技術研究組合の詳細について
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 野村 眞、清水 淳一
電話：0774-75-2302
- ・ 広報
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 広報・産業連携チーム 中村 哲、辰巳 奈美
電話：0774-75-2301